

特記仕様書

I. 調査概要

1. 委託業務名 輪島市門前地区統合保育所整備地質調査業務
調査場所 輪島市門前町地内
2. 調査種目
- ・地質調査 一式

3. 調査期間 完了期日 令和8年12月25日

II 調査仕様

1. 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部「敷地調査共通仕様書」（令和4年3月14日 国営整第151号）、石川県土木部「石川県地質・土質調査業務共通仕様書」（令和5年1月）による。
2. 特記仕様
- 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
- 2) 特記事項は 印のついたものを適用する。
○印のつかない場合は、※印を適用する。
○印と※印のついた場合は、共に適用する。
- 3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、敷地調査共通仕様書の当該項目又は当該表を示す。

章	項 目	特 記 仕 様 書
1 一般 共通 事項	成果品その他 ①. 施工計画 ②. 調査期間 ③. 器具材料 ④. 立ち会い 及び検査 ⑤. 官公署その他 への手続き ⑥. 成果品の内容 及び提出部数 ⑦. 工程写真 ⑧. 調査管理 ⑨. その他	(1.1.3) (1.2.1) (1.2.2) (1.3.9) (1.3.10) (1.5.1) 調査着手に先立ち実施工程表、業務計画書を提出し、担当職員の承諾を受ける。 実施工程表は、日程及び施工順序を含む詳細なものとする。 契約の工期は現場作業以外の採取資料整理、報告書の作成等の所作業の日数も含むものとする。 本調査に使用する機械器具及び材料は、予め担当職員の検査若しくは承諾を受ける。 担当職員が特に指示する場合は、担当職員の立ち会い及び検査を受ける。 本調査に必要な官公署その他への手続きは受託者が遅滞なく行い、これに要する費用は受託者が負担する。 1) 調 査 調査地質の概要及び支持力検討資料 3 部 2) 土質標本 1 式 3) 報 告 書 A4版 2部 CD-R 1部 (国土交通省「地質・土質調査成果電子納品要領」に基づき提出すること。) 工程写真は敷地の状況（着工前）を含め、試験状況等の記録を調査職員の指示に基づきカラーサービス版で整理し、2部提出する。 1) 調査中、既設公共工作物等に破損及び汚損等を生じた場合は、受託者にて原形復旧する。 2) ボーリング調査中、汚水等が出る場合は、沈殿層を設け上澄液を排水溝に流す等の処置をする。 本調査は担当職員の指示により、設計深さ又は支持地盤（N値50以上）その他疑義が生じたときは担当職員と協議の上決定するものとする。

2 敷地測量	1. 平面測量	範囲 ※図示 (2.2.1) 成果品は下表による (2.2.5) (2.2.6) (表2.1.1)													
		<table><tr><td>名称</td><td>縮尺</td><td>備考</td></tr><tr><td>平面図</td><td></td><td></td></tr><tr><td>求積図</td><td></td><td></td></tr><tr><td>測量計算書</td><td></td><td></td></tr></table> 用紙のサイズ (2.1.6) ※A1程度 方眼線の方向 (2.3.2) ※監督員の指示による ・ 方眼線の間隔 (2.3.2) ※表2.3.1による ・ ベンチマークの設置方法 (2.3.4) ※コンクリート杭 ・ 等高線の記入 (2.3.6) ※記入しない ・ 記入する 等高線の間隔 ※表2.3.3			名称	縮尺	備考	平面図			求積図			測量計算書	
名称	縮尺	備考													
平面図															
求積図															
測量計算書															
3 建築物その他調査	1. 一般事項	成果品その他 ※表3.1.1 ・ () (3.1.4) 用紙サイズ ※A 1 ・ ()													
	2. 建築物調査	調査範囲 ※図示 ・ (3.2.2)													
	3. 排水調査	調査範囲 ※図示 (3.3.2)													
	4. 工作物及び立木調査	工作物の調査範囲 ※図示 ・ (3.4.2) 立木の調査範囲 ※図示 ・ (3.4.3)													
	5. 電気設備調査	調査範囲 ・ 図示 ・ (3.5.2) 接地極の判定方法 ・ 接地抵抗測定 ・ 大地抵抗率測定 テレビ電波状況の調査 ※しない ・ する													
	6. 機械設備調査	調査範囲 ※図示 ・ (3.6.2)													
	7. 敷地の履歴調査	調査範囲 ※図示 ・ (3.7.2)													
4 地盤調査	①. 基準点	基準点の接地方法 (4.1.3) ※発注者の指示する敷地内又は周辺部にある移動のおそれのない 固定物 ・ 水準測量を行う時のベンチマーク ・ 水準点													
	②. ボーリング	掘削工法及び記号 (4.2.2) ※ロータリー式ボーリング (RB) ・ オーガーボーリング (OB) ・ 試掘 (TB) ・ コアボーリング (CB) 掘削孔の後処理 (4.2.2) ※埋め戻す ・ 掘削位置 ※図示 (4.2.3) ◎担当職員の指示による													

掘削本数、深さ、工法、孔径及び形状は下表による (4. 2. 3)

掘削位置番号	掘削工法	掘削深さ (m)	掘削の孔径及び形状寸法
	担当職員の指示による		

3. サンプルング サンプルング位置及び深さは下表による。 (4. 3. 3)

掘削位置番号	深さ

④. サウンディング 種別 (4. 4. 2)

- ※標準貫入試験
- ・スウェーデン式サウンディング試験
- ・機械式コーン貫入試験

試験を行う掘削位置番号 (4. 4. 3)

- ※ボーリング位置に同じ
- ・計画建築物の位置で、担当職員の指示とする。

試験深さ

- ※ボーリング掘削深さに同じ
- ・ m × 箇所

試験間隔

- ※地表面より 1 m の深さより 1 m 間隔
- ・

5. 孔内水平
載荷試験 試験位置及び深さは下表による (4. 4. 3) (4. 4. 4)

掘削位置番号	試験深さ	試験想定土質	備考

6. 地下水調査 試験位置及び深さは下表による (4. 5. 3)

掘削位置番号	試験深さ	試験想定土質	備考

試験種別 ※非常法 (※回復法 ・ 注水法) ・ 定常法 (4. 5. 5)

7. 弾性波速度検層（PS検層）試験	試験位置及び深さは下表による			(4. 6. 3)
	掘削位置番号	試験深さ	備考	
8. 常時微動測定試験	試験種別 ※ダウンホール方式 ・ 孔内起振受振方式			(4. 6. 4)
	試験位置及び深さは下表による			(4. 6. 5)
	掘削位置番号	試験深さ	試験想定土質	備考
9. 平板載荷試験	試験位置及び深さは下表による			(4. 7. 3)
	掘削位置番号	試験深さ	最大荷重（t）	想定土質
10. 杭の載荷試験	試験孔の平面形状寸法 ※1.8m×1.8m ・			
	孔内載荷試験の方法 ※段階式載荷（1サイクル） ・ 段階式繰返し載荷（多サイクル）			(4. 7. 4)
	試験の種別 ・ 鉛直載荷試験 ・ 水平載荷試験			(4. 7. 2)
	杭の種類、寸法、施工法及び試験位置 ※図示 ・			(4. 7. 3)
	杭の設置後の放置期間 日			
	試験杭の周面摩擦の処理方法 ・			
	杭応力の計測方法 ・			

	最大載荷重 ・ (t)	(4. 7. 4)								
11. 物理試験	試験の種別 ・ 土粒子密度 ・ 液性限界、塑性限界	(4. 8. 2) ・ 含水比 ・ 細粒分含有率 ・ 粒度 ・ 湿潤密度								
12. 変形・強度試験	種別 ・ 一軸圧縮試験 ・ 一面せん断試験 (※圧密定体積 ・ 圧密定圧) ・ 三軸圧縮試験 (※UU ・ CU ・ CD ・ CU) ・ 繰返し三軸試験 (・ 液状化強度 ・ 動的変形) ・ ねじりせん断試験	(4. 9. 2)								
13. 圧密試験	種別 ※段階載荷圧密 ・ 定ひずみ速度載荷圧密	(4. 10. 2)								
14. 安定化試験	試験の種別 ・ 締め固めた土のCBR試験 ・ 乱さない土のCBR試験	(4. 11. 2)								
	採取位置 ※図示 ・	(4. 11. 2)								
	採取深さ (切土の場合) ※路床面より50cm以深 ・ (盛土の場合) ※土取場の露出面より50cm以深	(4. 11. 2)								
15. 地盤改良関連の試験	試験種別、試験方法及び報告事項は下表による。	(4. 12. 1)								
	<table><tr><th>試験種別</th><th>試験方法</th><th>報告事項</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	試験種別	試験方法	報告事項	備考					
試験種別	試験方法	報告事項	備考							
16. 建設発生土関連の試験	試験種別、試験方法及び報告事項は下表による。	(4. 13. 1)								
	<table><tr><th>試験種別</th><th>試験方法</th><th>報告事項</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	試験種別	試験方法	報告事項	備考					
試験種別	試験方法	報告事項	備考							
17. 総合考察	特に日本建築学会制定の「基礎構造計算基準」により、 基礎支持力の検討及び支持力の計算については適正に考察すること。	(4. 14. 2)								
18. 報告書その他	ボーリング柱状図の作成は「ボーリング柱状図作成及び ボーリングコア取扱い・保管要領(案)・同解説 (平成27年6月)」 /第4・5編土質ボーリングによる	(4. 15. 2)								